

# 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 79 ワークス大久保

記入日 2023年(令和5年)5月22日

1. 2030年までに達成したいこと	「住み続けられるまちづくりを」=共生社会の実現 障がいの有無にかかわらず誰もが相互に人格、個性を尊重し、 支え合える明石市の実現。	3. 関連するゴール									
	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
2. 取組の概要	・廃棄される食材（フードロス）の削減 ・障がい者の視点から農作物生産の重要性やフードロスを学ぶ ・スポーツイベントを通じて、障がいの有無・性別・年齢など 関係なくスポーツを楽しみ、互いに理解し合える関係を作る。	3. 関連するゴール									
			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
No.	取組内容	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度		
(1)	地域の生産型福祉事業者より出てしまった余剰・廃棄予定の農作物について、他事業所・地域ボランティアと連携し、こども食堂や高齢者施設等へ提供することで、フードロスの削減につなげる。	こども食堂等への食材提供	10 箇所	0 箇所	0 箇所	%	0%
			2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	
(2)	当事業所と既存の農作業を行っている生産農家と連携し、当事業所の利用者の方に農作物生産の重要性やフードロスを学ぶ機会を設け、フードロスの問題についての理解に繋げる。また、食材提供に伴う作業等に対する理解を深めることで、働きがいの向上につなげる。	フードロスに関する研修の実施	48 回	0 回	17 回		35%
			2025年度	2020年度	2022年度	2023年度	
(3)	ワークス大久保が加盟している「あかしユニバーサルフットボール連盟」の活動の中で、広く一般市民の方々や障がい者、LGBTQ+の方が参加し、相互理解を深めることができる啓発イベントを提案し、実施する。	啓発イベントの参加者	1,200 名	0 名	0 名	名	0%
			2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	

5. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰農作物についてはコロナ明けから具体的な取り組みを開始予定の為、現況進捗はなし。</li> <li>・フードロスの学習については利用者からも大変好評で、昼食の食べ残しの減少など、身近なところから少しずつ変化が現れている。</li> <li>・AUF主催事業で「運動の日 あかし」を中心役員として実施。149名の子供と60の大人たちが参加（両方一般/施設参加）して、ともにスポーツを楽しみました。</li> </ul>	<b>問合せ先</b> 団体名：ワークス大久保 （一般社団法人ピア・フォーラム） 電話：0789408212 メール：works.ookubo@gmail.com 担当者：佐藤 右京
---------	---	--

6. 今後の課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物を制作しているぴあファームと連携して、受け入れ提供施設の開拓と連携。</li> <li>・現在は学習内容が主に身の回りの事になっているが、外に向けて取り組んでいけるよう、学習内容の方向性を取り組んでいく。</li> <li>・スポーツイベントについては、パラスポーツなどの啓蒙活動も盛り込みながら、更なる参加者の拡充に取り組んでいきたいと思います。</li> </ul>	<b>連携希望</b> なし
-------------	--	----------------